

令和5年台風第7号に伴う被害状況について

令和5年8月18日15時現在

1 総括

区分	被災箇所数等	被害金額（千円）
農地・農業用施設	190箇所	269,300
林地・林道	20箇所	342,590
漁港施設等	3箇所	140,000
農畜産業施設	30棟	調査中
農作物	54ha	31,917
家畜	最大30,000羽	13,770
合計	243箇所、54ha、最大30,000羽	797,577

2 内訳

種別	被害状況
農地・農業用施設	○農地 畦畔崩壊等：108箇所（猪名川町、三木市、加東市、姫路市、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市、丹波篠山市、丹波市、淡路市、洲本市、南あわじ市） ○農道・橋梁 法面崩壊等：12箇所（新温泉町、香美町、養父市） ○用排水施設 土砂埋没等：70箇所（豊岡市、香美町、新温泉町、養父市、丹波市）
林地・林道	○林地 山腹崩壊等：9箇所（豊岡市、香美町、養父市、丹波市） ○林道 法面崩壊、土砂流入等：11箇所（神河町、豊岡市、香美町、朝来市、南あわじ市）
漁港施設等	○漁港・海岸 流木等漂着：3箇所（姫路市、香美町、新温泉町）
農畜産業施設	○パイプハウス等 ビニール破損、浸水等：16棟（神戸市、三田市、養父市、南あわじ市） ○牛舎・鶏舎等 屋根一部損壊、土砂流入等：14棟（香美町、新温泉町、養父市、朝来市）
農作物	○岩津ネギ：0.3ha（朝来市） ○ほうれんそう：0.06ha（養父市） ○夏ダイコン：0.3ha（新温泉町） ○ピーマン：0.15ha（養父市） ○水稲：3.5ha（市川町、新温泉町） ○小豆：2ha（豊岡市） ○ナシ：13.9ha（豊岡市、香美町、新温泉町） ○いちじく：14ha（川西市） ○栗：20ha（宝塚市、猪名川町）
家畜	○ブロイラー：最大30,000羽（朝来市）

※現在、調査を継続中

作成年月日	令和5年8月21日
作成部課名	農林水産部畜産課

南あわじ市における豚熱の発生と対応状況について

1 豚熱の発生状況

- (1) 国内：平成30年9月に岐阜県で26年ぶりに発生、令和5年7月までに87事例
- (2) 本県：平成元年11月に上月町(現佐用町)で発生して以来34年ぶり

2 発生農場の概要

南あわじ市 養豚場(繁殖肥育一貫経営、約700頭飼育)

3 経過

- (1) 7月20日(木)10時30分 当該農場から淡路家畜保健衛生所に豚に異状があるとの通報
- (2) 7月21日(金)13時00分 淡路家畜保健衛生所のPCR検査により陽性を確認
- (3) 7月22日(土)17時00分 国の遺伝子解析により豚熱の患畜と確定
- (4) 7月22日(土)23時25分 子豚225頭の殺処分完了(7月24日に焼却完了)
- (5) 7月28日(金)11時30分 農場内の飼料・糞尿等の処理、豚舎等の消毒完了
- (6) 7月28日(金)2時30分 子豚以外473頭の殺処分完了(計698頭)(7月31日に埋却完了)

※県職員延べ378名、民間会社延べ124名 合計502名で防疫措置を実施

4 県の対応

- (1) 「兵庫県豚熱対策本部」、「兵庫県豚熱対策淡路地方本部」を設置
(7月22日(土)17時00分～31日(月)10時30分、以降は警戒本部に移行)
- (2) 当該農場への部外者の立入制限、出荷等の制限
※県内の飼育豚・いのししにはワクチンを接種しているため、移動制限区域及び搬出制限区域は設定しない
- (3) 淡路島内豚飼育施設(当該農場を除き11戸)を緊急調査、現時点で異常なし
- (4) 家畜保健衛生所による発生予防対策の再徹底
 - ①異常畜発生時の早期通報を指導
 - ②畜舎への野生動物の侵入防止対策等、飼養衛生管理基準の遵守指導
 - ③消石灰配布等による消毒強化(8月中)
 - ④飼育豚への豚熱ワクチン接種の継続(40～60日齢で接種、以降は定期的に追加接種)
- (5) 発生農場の経営再開支援
事業者の経営再開に向けて、南淡路農業改良普及センター、洲本農林水産振興事務所、淡路家畜保健衛生所が融資制度の紹介を行うなど支援中

【参考】県内の豚飼育状況(飼育いのししを含む)

89戸21,333頭(令和5年2月1日 兵庫県調べ)
うち養豚業19戸20,600頭(令和5年2月1日 畜産統計)
1戸あたりの最大飼育規模 約6,000頭